



主な話題

- p 02 ～空き家問題の当事者になるときに備えて～「空き家」のこと、考えてみませんか？
- p 04 戸籍に振り仮名が記載されます 振り仮名の通知が届いたら、必ず確認しよう！
- p 05 旧合同庁舎の解体工事をを行います／水道メーター(量水器)を交換します



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ 第75回「社会を明るくする運動」 『Time with Hope 進む、希望とともに。』

7月1日の朝、東海保護司の会、東海村更生保護女性会、東海村人権擁護委員会等で組織する「社会を明るくする運動東海村推進委員会」(代表・山田修村長)が、JR東海駅で啓発活動を行いました。この活動には、東海中学校、東海南中学校、県立東海高等学校の生徒の皆さん(計21人)も参加し、犯罪や非行のない安全・安心な社会の実現につなげるため、一人でも多くの方の理解と共感を得られるよう、通勤・通学の皆さんに声を掛けながら、活動に関するリーフレット等の啓発物品を配布しました。

“どうして犯罪や非行が起きてしまうのか、立ち直ろうとする人を地域で受け入れ、支えるためには何が必要なのか——”。この機会に、改めて考えてみませんか。



▲村公式HP

社会を明るくする運動(社明運動)とは、全ての方々が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの立ち直りについて理解を深めながら、力を合わせて犯罪のない明るい地域社会を築こうとする全国的な活動のことで、法務省が主唱するものです。活動は年間を通して実施されていますが、毎年7月を強調月間としています。

●社明運動が広がることを願って



【写真左から】平田利明さん(東海村人権擁護委員会委員長)、黒羽根史朗さん(東海保護司の会会長)、佐藤百合子さん(東海村更生保護女性会会長)

私たちは“明るい地域社会”の実現を目指して活動しています。犯罪や非行、再犯を防止するためには、地域の皆さんの理解と協力が不可欠です。この運動を通して、たくさんの方に協力の輪が広がっていくことを願っています。

●啓発活動に参加して～参加生徒の声～

「話し掛けるときは笑顔で心掛けました」という中学生。今回の活動に参加して、「自分たちの住むまちのために協力できたことを、うれしく思います」と話してくれました。

また活動終了後、高校生からは、「地域の皆さんに活動を知ってもらって、少しでも社会が明るくなればと思います。私たちも協力していきます」との声が聞かれました。

